

# 近畿のクマ、秋の主食は液果類

## アオハダやウラジロノキの実みずみずしい果肉

自動撮影カメラが捉えたツキノワグマ。2025年10月、兵庫県の但馬地域



ウラジロノキの実(兵庫県立大提供)



近畿北部の里山に生息するツキノワグマについて、秋の主食はドングリではなく種の周りにみずみずしい果肉をもつ「液果」とする研究結果を、兵庫県立大の研究チームが12日付で、国際学術誌に発表した。各地で被害が相次ぐクマの出没予測への活用が期待される。

ツキノワグマの食性に関する研究は、これまで北日本や東日本で実施され、比較的温暖な西日本エリアで定量的に研究したのは初めてという。出没予測はドングリの豊凶に基づいて行われてきたが、研究チームは「地域によっては液果類の状況が左右している可能性が示された」としている。

研究では2021～24年の4年間、兵庫県北部から京都府北部に分布するクマのふんを288個採取して分析。従来の研究で主食とされてきたドングリではなく、森林内に生息するアオハダやウラジロノキの実など液果類を主に食べていることが分かった。

さらに、人里周辺で出没情報が多かった年には、柿や栗を多く食べていたことも判明。森の液果類が不足すると、代替となる柿や栗を求めて人里近くに姿を現すようになる可能性が考えられる。

兵庫県立大自然・環境科学研究所の藤木大介准教授は「他の地域でも同様に調査し、出没予測のための手法確立を進めたい」と話した。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

### 県立大発表、出没予測への活用期待

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 兵庫県立大の研究チームはどのようなことを明らかにしましたか。[ ]にあてはまる語句を、本文中から抜き出して書きましょう。

従来クマの秋の主食は[① ]とされてきたが、研究によって近畿北部のクマの秋の主食が[② ]類であることが解明された。

2 近畿北部のクマが人里近くに出没するのはなぜだと考えられますか。

森の[① ]類が不足したときに、その代替として人里の[② ]や[③ ]を求めるため。

3 傍線部について。今後の近畿北部のクマの出没予測について、□にあてはまるように本文中から語句を抜き出して書きましょう。

□□□の□□□に基づく予測の確立が期待される。

